

名稱

〔倭名類聚抄五國郡〕佐渡

〔運步色葉集佐〕佐渡 佐州

〔饅頭屋本節用集左天地〕佐渡サド 渡州

〔日本風土記一寄語島名〕佐渡サド 沙度

〔倭訓栞前編十〕さど 佐渡の國は、狹門の義也といへり、

〔古事記傳五〕佐渡島、名義は狹門か、此島へ舟入る、水門のせばきにや、凡て海に、島門、水門、追門など云ること多し、なほ國形をよく尋て定むべし、

〔類聚名物考地理一〕佐渡國 北陸道

この國は、北國の越後の後より、海をわたりて行國なれば、その海道の間せまくあれば、追門なるを、世と佐とは音の通へばいふなり、すべて海の狭く、兩傍にはさまれたる所を追門と云ふ、萬葉集にかく書るは、世末里止の意にて、門戸はみな止といふ、狹戸といふに同じ、

〔諸國名義考下〕佐渡

名義は、○中中川顯允は、海中に放れたる國なれば、離所サカドの略クワかりならむといへり、

〔地勢提要乾〕各國經緯度附里程

佐渡相川瀨川 極高三十八度二分、經度東二度三十五分、從越後出雲崎至佐渡小木湊、渡海直徑一

十一里三十三町、前同○從東都一百九里九町十九間、

位置